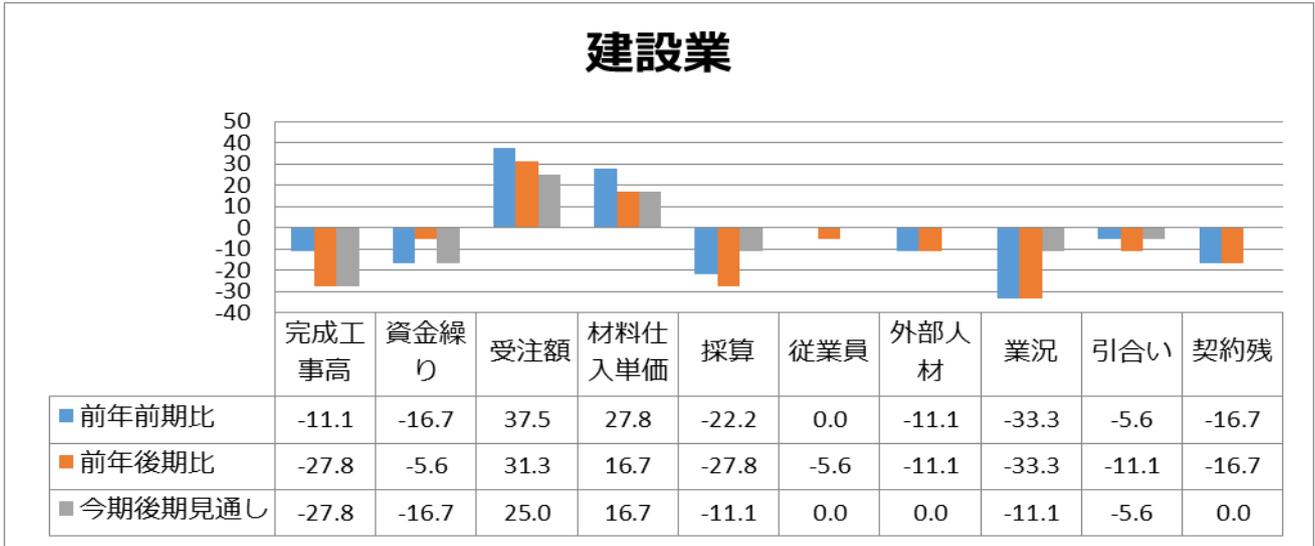
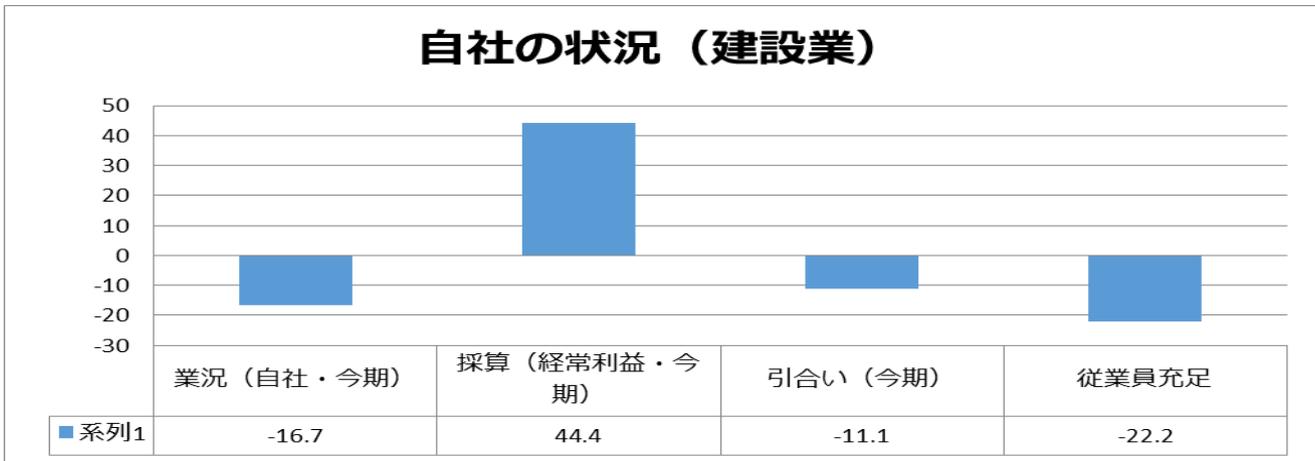


③建設業

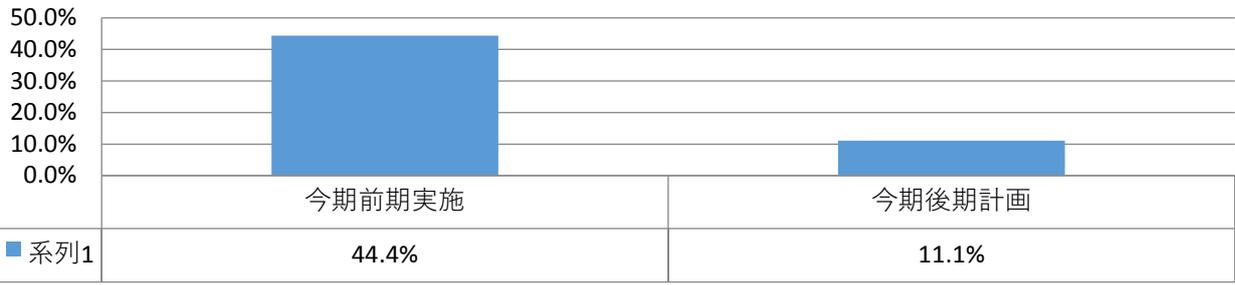


受注額は前年比において増加しているが、完成工事高や採算の上昇に反映されておらず、契約残も減少している。業況も前年比で低下を感じている事業者が多いが、今後の見通しにおいてはマイナス幅の減少がみられる。材料仕入単価が上昇する中、資金繰りは悪化している。



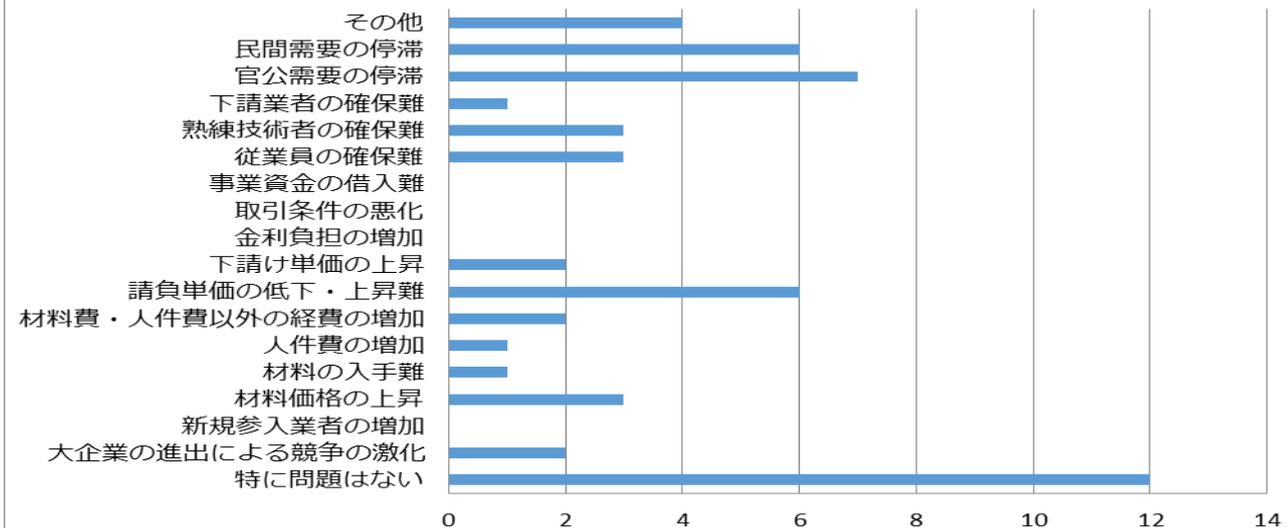
業況については悪い中であるが、経常利益は出せている事業者が他業種に比べて多い。一方で従業員が不足していると感じている事業者も他業種より多く、人材確保という建設業特有の課題もみえる。

設備投資実施率（建設業）



設備投資実施率は他業種よりも高いが、内容は過半が車両・運搬具であり、定期更新であると考えられる。計画については低い。

経営上の問題（建設業）



経営上の問題点として、3位に「特に問題はない」と回答する事業者が多かったが、「官公需要の停滞」「民間需要の停滞」と需要についての問題を示す声も多い。下請け企業にとっては「請負単価の低下・上昇難」も大きい。